

がん治療の“今”がわかる専門情報誌

愛知県がんセンター

がんセンター

NEWS Aichi Cancer Center
NEWS

2024年
10月
vol.90

発行 愛知県がんセンター Tel. 052-762-6111(代)

今号のニュース **笠井信輔氏による講演会を開催しました(2ページ)**

がんの疑いのある方への二次検査のご案内(2ページ)

基礎実験体験講座と公開講座の開催報告(3ページ)

新任医師のご紹介(3ページ)

病院トピックス

薬剤部 薬務科 専門員 前田 章光

安心・安全な薬物治療を目指して(4ページ)

研究所トピックス

腫瘍免疫応答研究分野長 鍋倉 宰

腫瘍免疫応答研究分野長就任の挨拶(5ページ)



【栄養管理部おすすめメニュー】
レンジで簡単!豚肉野菜巻き(4ページ)

【イベント・講座インフォメーション】
愛知県がんセンター公開講座年間スケジュール(7ページ)
第21回中部地区がん医療連携学術講演会の報告(7ページ)
「遺伝性がん当事者からの手紙」写真パネル展の開催(7ページ)

【シリーズ:とよろく医探訪】 No.33
あんどうファミリークリニック
院長:安藤 忠夫 先生(6ページ)

笠井信輔氏による講演会を開催しました

運用部経営戦略課 医事グループ
主事 村井 美月

8月7日(水)フリーアナウンサーである笠井信輔氏をお招きし、「足し算で生きる～がんステージ4からの生還～」をテーマとした講演会を実施しました。この講演会はがんの体験を通して治療中に感じられたことをお聞きすることで、患者さんの思いに寄り添った医療を提供することを目的に接遇研修の一環として行ったものです。今回は、笠井氏が悪性リンパ腫を完全寛解した経験を持つこともあり、希望する患者さんやご家族にも聴講いただきました。

当日は職員222名、患者さん・ご家族71名に参加していただき、それぞれの立場から講演をお聞きしました。

特に印象的であったことは、医療者と患者さんとの間には物事のとらえ方に違いがあり、医療者は患者さんの立場に立って業務にあたる必要があるということでした。ほかにも、患者視点からの経験を多く聞くことができ、医療者は日々の行動を振り返るきっかけにもなりました。

講演会終了後には、笠井氏から患者さんに声をかけられる場面も見られ、職員と患者さん双方に有意義な講演会となりました。

今回の講演を機に職員はさらなる接遇向上を目指し、患者さんが安心して受診できる愛知県がんセンターを目指してまいります。



がんの疑いのある方への二次検査のご案内

愛知県がんセンターでは、人間ドックや健康診断でがんの疑いがあると診断された方に対し、二次検査を実施しております。

ご希望の方は、予約なしでも受け付けておりますので、当センター総合案内までお越しください。

なお、待ち時間が長くなりますこと、また、状況によっては当日に診察を受けられない場合がございますこと、あらかじめご了承ください。

【開業医の先生方へ】

クリニックでの検診の結果、がんの疑いがある患者さんがみえましたら、疑いの段階でもかまいませんので、当院にご紹介ください。



基礎実験体験講座と公開講座の 開催報告

運用部経営戦略課 企画・経営グループ
主事 村上 海太郎

愛知県がんセンターでは、がん研究を身近に感じていただくため、8月に高校生を対象とした、簡単な実験や研究者との対話を通じて研究を体験する「高校生向け基礎実験体験講座」を、9月に中・高校生を対象とした「公開講座」をそれぞれ開催しました。

体験講座は、「これであなたもがん研究者～がんの弱点を見つけ出そう～」と題して8月8日(木)に開催し、愛知県内外から参加した16名の高校生が、がん遺伝子の変異の同定と分子標的薬の特異性について理解を深めました。参加者からは、「実験の楽しさや面白さを実感することができた」「この講座を通じてより将来の夢が明確になった」などの嬉しい声が寄せられました。



公開講座は、「～若き未来の医学研究者たちに贈る!!～未来の医学に挑むがん研究者のメッセージ」と題して9月8日(日)に開催し、参加された100名近くの中・高校生とその保護者が、がんの予防法・診断法・治療法や若手研究者のキャリアパスについての講演に、熱心に耳を傾けていました。

どちらの講座も大盛況のうちに終了することができ、改めてご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。今回の講座が、将来の進路選択に役立つことを願っています。

新任医師のご紹介

新しい医師が入りました



形成外科部 医長

鈴木 寛久 Hirohisa Suzuki

経歴 JCHO中京病院、名古屋大学医学部附属病院、岐阜県総合医療センター、中部ろうさい病院、岐阜県立多治見病院

専門分野 形成外科一般

専門医等資格等 形成外科専門医



主に岐阜の市中病院で熱傷や顔面骨折といった外傷や、眼瞼下垂などの手術を行ってきました。患者様に寄り添った診療を心掛けております。よろしくお願いします。

安心・安全な薬物治療を目指して

薬剤部 薬務科 専門員 前田 章光



がん医療において医薬品は不可欠な存在となっており、患者さんの多くは薬を服用したり、注射薬を投与された経験があると思います。

愛知県がんセンターでは約1,200品目の医薬品を常時扱っており、それら医薬品を安全に使用するために、「その医薬品を使用してはいけない方(禁忌)」へ薬が処方された場合は、何重ものアラートを出すなど、管理を徹底しております。しかし、医薬品の注意事項は「飲み合わせ」「肝臓や腎臓の機能に合わせた投与量の調整」「点滴ライン内で混ざること」で、白濁などの配合変化を起こさないか」など多岐に渡ります。

薬剤部・臨床薬剤部では、個々の患者さんの状況に合わせた医薬品の使用について常に確認しており、医師への疑義照会(治療内容の確認)は年間約4,200件にも及びます。このように当院では常に多職種で医薬品の適切な使用方法のチェックを行いながら、患者さんにとって安全な薬物治療を目指しています。

特にリスク管理において重要だと思われる事例はプレアボイド*事例として日本病院薬剤師会へ報告することで、全国の薬剤師との情報共有を行っています。2023年度は52件の報告を行いました。抗がん薬という非常にリスクの大きい医薬品を扱う当院のプレアボイド事例は、全国の他病院にとっても大きな参考となるため、我々は積極的な情報発信に努めています。

どなたであっても、薬のことで気になることがありましたら、ぜひお気軽に薬剤師に声をかけてください。皆様の不安を解消し、安心・安全な医療提供に努めてまいります。



*Prevent and avoid the adverse drug reaction (薬による有害事象を防止・回避する)という言葉に基づいた造語

栄養管理部おすすめメニュー

調理師：原 邦彦 管理栄養士：嘉津山 瑞恵

「レンジで簡単!豚肉野菜巻き」



材料(2人前)

- ★豚ロース(しゃぶしゃぶ用) 10枚
- ★水菜 1/4束
- ★エノキ 1/2パック
- ★人参 1/3本
- ★酒 大さじ2

～タレ～

- ★プレーンヨーグルト 大さじ3
- ★ポン酢 大さじ2
- ★いりごま 少々

作り方

- ①水菜は根を落として10cmくらいに切りそろえる。エノキは石づきを落として半分の長さに切る。人参は千切りする。
- ②豚肉を広げて①のをせて巻き、巻き終わりを下にして耐熱皿にのせる。
- ③酒をふりかけてラップをして、電子レンジ(600W)で6分くらいを目安に加熱する。
- ④タレの材料はなめらかになるようにまぜる。
- ⑤③を器に盛り、④のタレを添えて完成。

レンジで簡単に作ることができ、肉も野菜も摂取できるレシピを紹介しました。家にある野菜を使って、ぜひ作ってみてください。





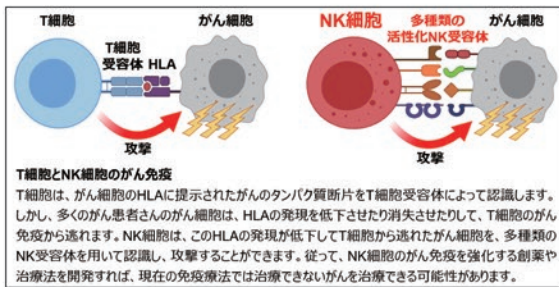
腫瘍免疫応答研究分野長就任の挨拶

腫瘍免疫応答研究分野長 鍋倉 幸



2024年6月より愛知県がんセンター研究所・腫瘍免疫応答研究分野長を拝命しました鍋倉幸(なべくらつかさ)と申します。学位取得後、カリフォルニア大学サンフランシスコ校、筑波大学を経て、ナチュラルキラー(NK)細胞免疫学の研究に取り組んで参りました。

当分野では、NK細胞ががん細胞を認識し、攻撃する仕組み(がん免疫)を研究しています。現在の免疫療法は、T細胞のがん免疫の増強法です。しかし治療効果は未だ限定的です。NK細胞は、T細胞が排除できないがん細胞を攻撃できるという特性を持つため(図)、次世代の免疫療法の開発に有用だと考えられています。しかし現在、NK細胞のがん免疫を強化する方策は確立されていません。私たちは、NK細胞の研究でがんの撲滅に貢献したいと考えています。そのために、NK細胞ががん細胞を認識して攻撃するまでを分子レベルで解明する基礎研究をしています。その上で、基礎研究を通して得た知見を活かし、NK細胞を利用してがんを完治できるような免疫療法の開発を目指しています。



基礎研究の成果を治療選択として提供するにはたくさんのハードルがあります。1日でも早く実現すべく病院・研究所と一体となって取り組みたいと思いますので、皆様からの温かい御支援を賜りますようお願い申し上げます。

愛知県がんセンターへの寄附金についてのお知らせ

愛知県がんセンターでは、医療体制の充実や研究促進のため、寄附金の受け入れをしております。

いただきました寄附金につきましては、がんセンターの医療・研究機器や設備の充実、がん克服に向けた研究推進などに使用いたします。

皆さまのご理解、ご厚志をお寄せいただきますようお願いいたします。

※2024年2月より、クレジットカードによりご寄附いただくことも可能になりました。

寄附・アンケートについてのお問い合わせ先

愛知県がんセンター運用部経営戦略課
 企画・経営グループ

〒464-8681名古屋市中千種区鹿子殿1番1号
 電話 052-762-6111 (代)
 FAX 052-764-2963
 メール kihukin@aichi-cc.jp

スマートフォンの方は
 ▼▼こちらから▼▼



アンケートのお願い

がんセンターNEWSの誌面を魅力的なものにするにあたり、皆様の貴重なご意見を参考にしたいという考えから、読者アンケートを実施することになりました。

たいへんお忙しいところ誠に恐縮ではございますが、皆様からのご回答を、心よりお待ちしております。

アンケートの回答はこちらから

- ※ アンケートは5分程度でお答えいただけます。
- ※ アンケートの締め切りは、11月30日です。



PCの方は
 こちらから

<https://forms.office.com/r/iiq8feaJGW>

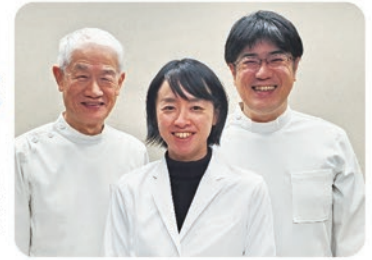


スマートフォンの
 方はこちらから



あんどろファミリークリニック

院長:安藤 忠夫 先生



安藤内科クリニックは1985年に開院していますが、2022年にリニューアル・オープンして「あんどろファミリークリニック」と改称し、病児保育室 ほいみんを1階に併設して、新たに小児科専門医と総合診療専門医の息子夫婦2人が加わって、私との3人で診療をしています。

愛知県がんセンターから比較的近いところにあり、地域連携パスにより前立腺がん術後管理をさせて頂いていますし、肺がん検診で腫瘤影が見つかり呼吸器外科にお世話になることが多いです。乳がん検診で疑いがあれば、これも精査をお願いしています。当院から紹介した膀胱癌の2症例も化学療法が効いて、当院との併診で元気で通院されています。

私は、愛知県医師会の医療安全支援センター委員をしていますが、近年、画像診断の進歩によって、注目している部位以外のところに異常所見が見つかることがあり、読影レポートは隅から隅まで読まない、所見の見落としとして問題となり注意が必要です。がんの発見遅延、見落としは訴訟の原因となりますし、がん以外の所見の記載にも注意が必要です。病診連携で画像データをCD-ROMで頂くことが一般的になっていますが、これを患者さんに供覧することは一般開業医にとって大変な作業で、画像レポートで説明することが多いと思いますが、なぜ画像を供覧しないのかと苦情が上がってくることもあります。画像診断の進歩に遅れないように努めてまいりたいと思っています。



医療機関情報



医療法人 あんどろファミリークリニック



病児保育室 ほいみん

- 診療科目 内科・小児科・総合診療
- 電話 052-775-0711
- 所在地 〒464-0008 名古屋市千種区宮根台1-7-7
- ホームページ <https://ando-fc.com>

【内科】

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	/
17:00~19:00	●	●	●	/	●	/	/

【小児科】

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	/
15:30~16:30	★	★	★	/	★	/	/
16:30~18:00	●	●	●	/	●	/	/

●診療日 / 休診日 ★予防接種



基幹バス・出来町線 竹越バス停から 徒歩3分

編集後記

第33回は千種区の、あんどろファミリークリニック、安藤忠夫先生です。2020年に安藤内科クリニックから改称し、病児・病後児保育室 ほいみんを併設され、建物も新しくなりました。変わらないモットーである「まず患者さんの声に耳を傾けること」を掲げ、友一先生、朋子先生と一緒に、赤ちゃんからご年配の方まで、地域に寄り添い、変わり続ける「あんどろファミリークリニック」は、来年9月で開業40周年を迎えられます。これからもよろしくお願いいたします。 y.sano



令和6年度 愛知県がんセンター公開講座(オンデマンド配信)

回	配信・申込期間	テーマ	講演者
4	R6.11.8(金)正午～ R6.11.25(月)正午まで	第4回「膵がんの最新治療」 1.膵がん総論 2.膵がんの診断法 3.膵がんの外科治療 4.膵がんの内科治療について	司会 副院長兼消化器外科部長 清水 泰博 1.消化器内科部 原 和生部長 2.消化器内科部 羽場 真医長 3.消化器外科部 浅野 智成医長 4.消化器内科部 桑原 崇通医長
5	R7.2.7(金)正午～ R7.2.25(火)正午まで	第5回「がん臨床試験について学ぼう」 1.希少がんについて 2.がんの臨床試験について 3.臨床試験の新しい形について(リモート治療、プラグマティック試験)	司会 臨床試験部長 安藤 正志 1.薬物療法部 本多 和典医長 2.臨床試験部 安藤 正志部長 3.薬物療法部 谷口 浩也医長

◇視聴料:無料(ただし、通信料は自己負担願います。) ◇視聴方法:**事前申込が必要**
 ※事前に愛知県がんセンターweb公開講座ページにある事前申し込みフォームよりお申し込みください。YouTubeによるオンデマンド配信です。
 事前申し込みの方には、視聴するためのURLをメールにてお送りします。都合により予告なく中止、公演内容等の変更をすることがあります。
 ◇視聴対象者:どなたでも事前申し込みのうえ、視聴できます。なお、視聴するためのインターネット環境が必要です。

第21回中部地区がん医療連携学術講演会を開催しました

医事グループ 主事 村井 美月

7月27日(土)ホテルメルパルク名古屋において、近隣の医師会、歯科医師会、薬剤師会のご協力のもと、第21回中部地区がん医療連携学術講演会を開催しました。当日は137名もの先生方にご参加いただきました。

次回は、2025年2月8日(土)ルブラ王山にて開催予定です。



学術講演会の様子

「遺伝性がん当事者からの手紙」写真パネル展

ゲノム医療センター リスク評価室 主任 高磯 伸枝

10月24日(木)から11月13日(水)まで、病院1階アトリウムで、当事者の想いや家族への愛が綴られた「遺伝性がん当事者からの手紙」写真パネル展を開催します。会場にはパネルをご覧いただいた感想やメッセージを書いて貼っていただくコーナーも設置しています。多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。




昨年の写真パネル展の様子

公開講座の問い合わせ先

〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号
 愛知県がんセンター運用部経営戦略課 公開講座係
 TEL: 052-762-6111(内線2511・2521)
 FAX: 052-764-2963
 愛知県がんセンター web ページ(公開講座)
<https://cancer-c.pref.aichi.jp/site/folder6/3975.html>



医療連携のご案内		寄附のお願い
対応時間	月曜日～金曜日 午前9時00分～午後7時00分 土曜日 午前9時00分～午後1時00分 (祝日、年末年始を除く)	詳細は ホームページの 「寄附のお願い」を ご覧ください スマート フォンの 方は こちらから  PCの方は こちらから https://cancer-c.pref.aichi.jp/site/folder17/
電話	052-764-9892 (直通)	
FAX	052-764-9897 (24時間稼働しております。)	
ホームページ	https://cancer-c.pref.aichi.jp 「医療関係者の方へ」-「医療連携」をクリックしてください。	

外来診療担当表

受付時間	午前8時30分から午前11時30分 (都合により診察医の変更あるいは休診の場合があります)
休診日	土、日、祝日、年末年始

※(SO)はセカンドオピニオン診療だけの場合に表します。 ※(初)-(初診)・(再)-(再診)・(非)-(非常勤) 2024年10月1日

診療科目	月	火	水	木	金
総合初診	稲葉	原	室	堀尾	田近
消化器内科	原(初) 田中(初) 奥野 田近(SO)	原 田近 山田(初) 桑原	原 羽場 田近 孝田 伊藤	丹羽(初)<午後> 水野 奥野 田中(初)<午前> 伊藤(初)<午前> 孝田	田近(初) 水野 山田(初) 桑原 羽場 田中/山田(SO)<午後>
呼吸器内科	渡辺(初) 山口(再) 堀尾(再) 清水(淳)(再)	藤原(初) 渡辺(再) 松澤(初)	清水(淳)(初) 藤原(初) 松澤(再) 山口(初)	山口(初) 堀尾(再) 清水(淳)(再) 渡辺(再)	堀尾(初) 山口(再) 藤原(初) 松澤(再)
循環器科	木村			木村	
血液・細胞療法	川口(初・再) 萩原(再)	鏡味(初・再)<隔週は午後のみ> 山本(一)(初・再) 楠本(初・再) 森島(SO)(非)大野(SO)(非)	川口(再) 齋藤(初・再) 森島(SO)(非) 大野(SO)(非)	楠本(初・再) 齋藤(再) 大野(SO)(非)	楠本(再) 萩原(初)(再)
薬物療法	安藤(初) 室(初)<午後> 舩石(初)	門脇(初) 谷口(初) 本多(初)<午後>	室(初) 本多 成田(初)	谷口(初) 門脇<午後> 舩石(初)	安藤(初) 門脇(初) 谷口(初)<午後> 成田(初)
頭頸部外科	花井(再) 寺田(第1・3・5週)(再) 別府(初・SO)<午前>	鈴木(再) 西川(再)(第1・3・5週) <午前> 別府(再)(第2・4週)<午前> 寺田(初・SO)<午前>	花井(初・SO)<午前> 小林(再)	花井(再)(第2・4週)<午前> 寺田(再)(第2・4週)<午後> 寺田(再)(第1・3・5週) 西川(再) 鈴木(初・SO)<午前>	別府(再) 小林(再)(第1・3・5週) <午前> 鈴木(再)(第2・4週)<午前> 西川(初・SO)<午後>
形成外科	高成(第1・3・5週) 鍋谷 奥村	高成 鍋谷 奥村 大島	高成(第1・2・3・5週) 大島 鍋谷	高成 鍋谷 奥村 大島	
呼吸器外科	則竹(初・再)	松井(初・再)	坂倉(初・再)	岩清水・坂倉(初・再)<午前>	瀬戸(初・再)
乳腺科	片岡(再) 小谷(初) 遠藤(再) 原(SO)<午後>	吉村/片岡(初) 服部(再) 原(再)	小谷(再) 服部(初) 吉村(再) 原(SO)<午後>	小谷(再) 能澤(再) 安藤(再) 遠藤(再) 原(初・再)	服部(再) 遠藤(初) 吉村(再) 片岡(再)
消化器外科	榎垣<午前> 安部 伊藤(誠)(第1・3・5週) 三澤(第2・4週) 木下(敬)(第1・3・5週)	三澤 木下(敬) 奥野(正)	小森(康司) 伊藤(友) 清水(泰)	夏目 伊藤(誠) 大内 安部	佐藤 安部(SO)<午後> 浅野<午前> 藤枝
整形外科・サルコマセンター外来	濱田(初) 筑紫(初) 吉田(雅)(初)	筑紫(初)	吉田(雅)(初)		濱田(初) 筑紫(初)(第1・3・5週) 吉田(雅)(初)(第2・4週)
脳神経外科	灰本<午後>		大野	灰本	大野
泌尿器科	小島(初) 加藤 茂井		小島 加藤(初) 北野	担当医(初)	北野(初) 加藤 茂井(初)
婦人科	篠田(初)	鈴木(初) 渡邊 北見(初)	安井(初) 北見(初)	鈴木(第1・3・5週)(初) 篠田(第2・4週)(初) 篠田(第1・3・5週) 安井(第2・4週)(初)	渡邊(初)
放射線診断科・IVR科	稲葉(初) 村田		稲葉(初) 山浦	佐藤(初)	稲葉 加藤(弥)
放射線治療科	古平(初) 立花(再) 小出(再)	古平(再) 立花(初) 小出(再) 橋本(再)	古平(再) 立花(再) 橋本(初) 小出(再)	鈴木(再) 小出(初) 橋本(再)	立花(初) 小出(初) 橋本(初)
精神腫瘍科	小森(康永)(予約のみ)	小森(康永)(予約のみ)	小森(康永)(予約のみ)	小森(康永)(予約のみ)	小森(康永)(予約のみ)
緩和ケア科	下山	下山	下山	下山	下山
ペインクリニック			木村<午後>(非)		
遺伝カウンセリング	井本	井本	井本	井本	井本
がんゲノム外来	衣斐	梅垣	衣斐	梅垣	梅垣

※現在は、当院受診中の患者さんのみ受け付けております。

糖尿病外来	細川<午後>	細川<午後>	
腎臓内科		担当医<午後>	
皮膚科	太田(非)	酒井(非)	森
眼科	立川<午前>(非)		立川<午後>(非)
リンパ浮腫	鍋谷<午前>		藤岡<午前>

※再診予約制：診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください。052-764-2911 (直通) 午前9時～午後5時 (土・日・祝・年末年始を除く)
※セカンドオピニオン外来は、全科で対応しています。(完全予約制・自由診療)

★公共交通機関のご案内

- 地下鉄利用 名城線「自由ヶ丘駅」2番出口から徒歩7分
- 市バス利用 基幹2系統・星丘11系統「千種台中学校」下車徒歩3分

★車でのご案内

- 一般道路 本山交差点から北へ約7分、平和公園の北西
- 高速道路 東名高速道路「名古屋IC」から西へ約15分
名古屋高速「四谷出口」から北へ約10分

